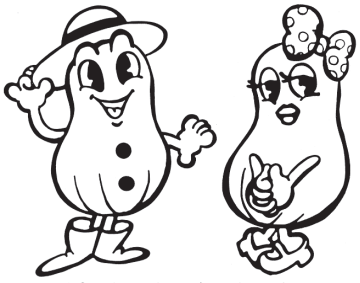
やちまた市議会だより

平成25年（2013年）
第192号〔5月1日発行〕

にゅうえんしき

4月11日㈭に市立幼稚園3園で入園式が行われました。たくさんのおともだちつくってね。

（写真:川上幼稚園）



ピーちゃん　ナッちゃん

3月定例会

主な内容

○ 提出議案の主な内容 ―― 2～3P
○ 委員会審査の主な内容 ―― 4P
○ 一般質問（代表4人・個人12人） ―― 5～14P
○ 議長・副議長の出席報告等 ―― 15P
○ 審議された議案と結果 ―― 16P

発行・八街市議会　編集・議会だより編集委員会 〒289-1192 千葉県八街市八街ほ35-29 TEL043(443)1482
〔八街市ホームページに会議録・一般質問項目・会議結果等について掲載してあります。　http://www.city.yachimata.lg.jp〕

3月定例会

提出議案の主な内容

平成25年３月定例会は、２月18日に開会され、諮問１件、議案30件、(修正議案等２件)、発議案２件が提出され審議されました。

《紙面の都合上、議案の内容の一部を掲載します》

平成25年度市政運営方針（主なもの）

安全で安心な街

◆第16分団消防機庫建設や第８分団の水槽付小型ポンプ積載車を購入します。

◆住宅耐震化促進事業を継続して実施します。

◆東日本大震災の経験を踏まえ、地域防災計画の見直しを行い、併せて備蓄倉庫や備蓄用資機材の整備を進めます。

健康と思いやりにあふれる街

◆成田赤十字病院の医療機器整備に対して補助します。

◆各種がん検診や母子父子家庭などの経済的負担を軽減するため母子援護対策費、緊急通報装置管理などの老人福祉、障害者の自立や地域生活などを支援するための障害者福祉を引き続き行います。

豊かな自然と共生する街

◆八街東小学校の周辺や八街駅の北側地域などの冠水対策として期待される大池第三雨水幹線工事を進めます。

便利で快適な街

◆榎戸駅東口の開設は、自由通路の整備及び駅舎橋上化に係る基本設計業務を実施しています。新たに詳細業務を実施し、平成26年の秋頃には工事に着手するよう準備を進めます。

◆市道四木28号線の道路改良工事を引き続き行い、その他緊急性の高い路線の道路改良工事を進めます。

◆住宅リフォーム補助事業、家庭用小型合併浄化槽設置に対する補助事業を引き続き行います。

心の豊かさを感じる街

◆朝陽小学校校舎改築工事が２ヵ年事業として始まります。

◆中央公民館の南棟耐震補強工事や北棟、南棟のトイレ改修工事を行います。

◆特別に援助、配慮が必要とされる園児、児童、生徒の安全確保及び園や学校における生活へ対応するための教育補助員を配置します。

活気に満ちあふれる街

◆農業経営者が高品質かつ安定的な生産を図るために必要な機械や施設の導入を支援するための輝け千葉園芸産地整備支援事業を引き続き実施します。

◆郵便カタログ販売による八街産落花生の販売に協力します。

市民とともにつくる街

◆地区コミュニティ推進事業として朝日区コミュニティセンター建設に補助します。

議案

◆人権擁護委員

・八街に　新宮　護氏

・四木　鬼嶌一夫氏

◆固定資産評価審査委員会委員

・八街ほ　安藤　豊一氏

◆特別職の給与減額

特別職の給与（月額）の減額を継続します。

市　長▲８万６千円

副市長▲５万４００円

教育長▲３万３千５００円

◆管理職手当て減額

一般職の管理職員手当について引き続き20％削減。

◆給食センター事業特別会計条例廃止

学校給食センター事業特別会計を廃止し、一般会計内で経理します。

◆児童クラブ開設時間延長

午後６時30分まで開設しているものを午後７時まで30分間延長保育を実施します。

※延長保育に係る保育料（通常の保育料に加算）

・ひとり親家庭や父母のいない家庭　月３００円

・その他　月５００円

議員発議

◆政務活動費

政務調査費から政務活動費に名称が変更され、使途基準の見直しが行われました。主な改正点は、要望・陳情活動としての経費及び団体等が開催する意見交換会の参加に要する経費が追加されました。また、議長は、政務活動費の使途の透明性の確保に努めることとしました。

補正予算

◆国の第１次補正予算の成立に伴い、平成25年度以降に実施を予定している事業の一部を前倒しします。

・道路の舗装修繕（１億１千５１６万円）

・橋りょうの点検調査（１千２００万円）

・道路排水施設の整備（５千１００万円）

・調整池などの流末排水施設の整備（１億５千８００万円）

・小中学校の耐震化の推進（３億５千４６８万円）

・小中学校の浄化槽の改修（９千９８万円）

・公共下水道管渠の新設（１千８００万円）

平成25年度一般会計予算に対する修正動議

提出者・・桜田秀雄

リサイクル推進費資源回収実施団体への奨励金を平成23年度当時と同じ１kgあたり５円に戻し、歳入歳出の総額を199億１千792万１千円にしようとする。

①市と協力団体との信頼関係の再構築を。

②財政的にひ弱な協力団体の育成強化を図ること。

③地方公共団体の予算は法律そのものであり、過ちは予算書で修正するのが議会の役割。（賛成少数により否決）

※参照４ページ経済建設常任委員長報告

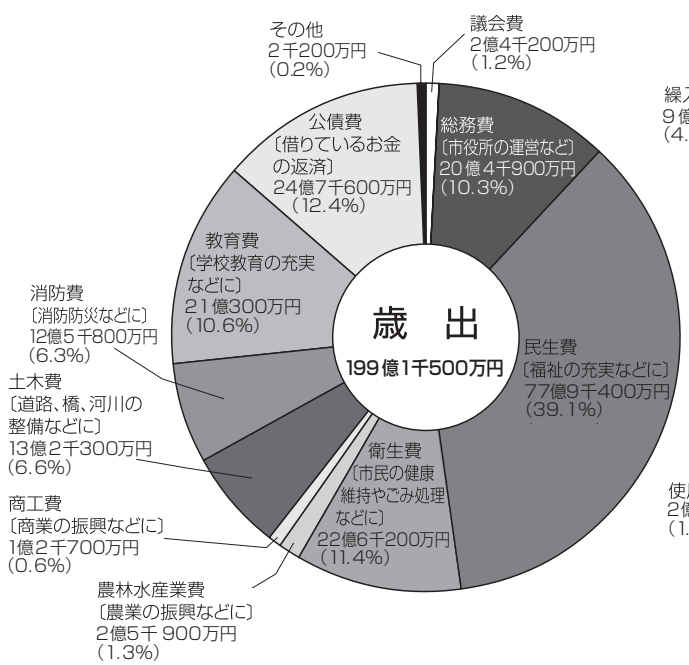
平成25年度一般会計予算組み替えを求める動議

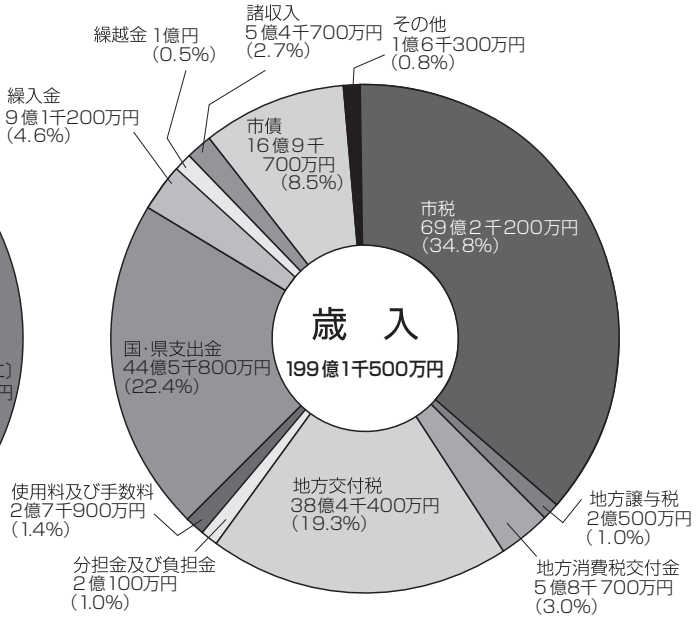
提出者・・丸山わき子、右山正美、京増藤江

市長の提案した新年度予算は、徹底した事業の見直しによる市民サービスの廃止・削減・負担増の一方で、強引な大池第三雨水幹線事業の推進です。これでは、市民生活や地域経済は一層悪化するばかりです。日本共産党市議団は、深刻な財政危機の下でも市民のくらし・福祉を優先する予算の組み替えの再提出を提案します。

（賛成少数により否決）

平成25年度一般会計予算





平成25年度八街市一般会計決算、討論！（要約）

反対討論

本市の新年度予算の予算編成方針では、財源確保にあたり、さらなる債権確保など、一層の徴収強化の方針とともに、受益者負担の適正化、新たな財源についても積極的に取り組むとし、297事業の見直しで1億9千200万円の削減を図ったとしています。しかし、この事業の見直しは、身体障害者・精神障害者保健福祉手帳交付等診断料助成の削減、児童クラブの時間延長による保育料の負担増や針・灸・マッサージ券の支給制限など最も支援が必要な市民への負担増強化とともに、リサイクル推進費に見られるように、新年度予算の上程後、元にもどさなければならないほど、施策を無視した一方的な削減の上に成り立たせた予算となっています。この間すすめられてきた不要・不急の公共事業のツケが、教育・福祉を後退させ、市民サービスの低下と財政難が市政運営にのしかかってきています。平成25年度も「駅前区画整理事業と同じ轍をふむことになる」と警告してきた大池雨水第三幹線事業を進めようとしていますが、今後一層の財政難とサービス切り捨ての市政運営となることは明らかです。市の基幹産業と位置付けてきた農業・商工予算が年々減り続けており、平成25年度は総予算のわずか1.9パーセント。これでは元気なまちづくり・活性化にはつながりません。大きな経済波及効果をもたらした、住宅リフォーム助成制度のように、市民の懐をあたためる施策を縦横に張り巡らせることや、農産物でのまちおこし、自然エネルギー活用など地域経済活性化のまちづくりで市税収をアップさせる取り組みが必要です。以上の立場から反対します。

賛成討論

現下の行政環境と厳しい財政状況を認識した上で、限られた財源を重点的かつ効果的に配分する施策精選型の予算編成と掲げられています。長引く景気低迷の中、市税収入の向上を図るという大変大きな課題を抱えていますが、前年度と比較し約1億円の増となっております。行政財産管理の適正化ではあるものの、新たに職員通勤自動車を駐車する場合の有料化や飲料水等自動販売機の設置場所の貸付収入を見込んでいます。しかしながら、財源不足は避けられず、各種基金からの繰り入れや市債を活用することにより、その財源不足に対応しています。なかでも市債については、前年度と比較し約1億3千万円増となっておりますが、歳出の市債償還元金を下回っており、起債残高の削減に努めております。一方、歳出面では、行財政改革推進本部を中心に、事務事業全般にわたり経費の節減や既存の制度・施策の見直しに努め、先の一般質問の答弁にありましたように、一般財源ベースで約1億9千200万円の財源を生み出し、予算編成に反映したということでございます。財政の健全化を維持するという困難な行政課題に対しての努力が伺われ、予算編成方針に沿った予算となっております。とはいえ、財政調整基金の積立金残高は、このままの取り崩しが進めば、平成26年度には枯渇しそうな状況でありますので、今後も北村市長の強力な指導力のもと、一層の経費削減に取り組むとともに財源確保に努め、複雑かつ多様化する市民ニーズに応えつつ、中長期を見据えた行財政運営をお願いしまして賛成します。

◆ 平成25年度　特別会計 ◆

区　分	平成25年度当初予算額①	平成24年度当初予算額②	増減額①－②
国民健康保険	94億7千274万2千円	88億8千291万3千円	5億8千982万9千円
後期高齢者医療	3億7千490万3千円	3億7千43万1千円	447万2千円
介護保険	37億1千525万6千円	31億5千362万1千円	5億6千163万5千円
学校給食センター事業	一般会計に編入	6億8千546万7千円	▲ 6億8千546万7千円
下水道事業	18億8千589万5千円	13億8千182万8千円	5億406万7千円
水道事業	14億9千583万8千円	20億5千916万9千円	▲ 5億6千333万1千円

委員会での審査

2月28日から3月8日に各委員会が開催され、付託された議案等を審査しました。
（紙面の都合上、質疑等の一部を掲載）

総務

◆管理職手当20%の削減

問 管理職手当カットが始まってどの位の年数が経つのか。また、対象役職数と対象額は。

答 平成17年度は、1年度間の実施。18年度は、実施はしていません。それ以降は、平成19年度から24年度まで実施してきました。

役職ごとの人数は、部長等は7名、参事職が4名、課長職が29名、7級主幹職が3名、6級園長が3名、安全安心担当官が1名、各園の園長7名で全部で54名になります。1年度間の影響額は、755万円相当の削減と試算しています。

◆個人市民税

問 個人市民税の減、伸び悩みの原因をどの様に分析しているのか。

答 前年度当初予算比で現年度分614万7千円、0.2パーセントの微減となっており、ほぼ横ばい状態です。

これは、平成25年度に大きな税制改正が予定されていないことや、依然として景気低迷等の影響により、残念ながら納税者の所得が延びない厳しい状況が続くという想定のもとに見込んでいます。

◆防災備蓄倉庫

問 防災備蓄用品は、どの程度確保されているのか。

答 各備蓄倉庫には、主食約800食、副食約800食、その他には毛布、防水シートは100枚ずつ。また、発電機などが備えてあります。

今回新たに整備するものは、簡易トイレ、リヤカーなど災害時に必要となる物資を平成25年度予算で設置します。

文教福祉

◆児童クラブ延長保育

問 延長保育を利用する人数を伺う。また、一時的に、家庭の事情により児童クラブに預けたいなど、不測の事態が発生した場合、日割り利用料を徴収してもいいので、受け入れは出来ないか。

答 人数は、利用者の10パーセントを見込んでいます。一時的に、受け入れることは、現状では考えていませんが、これから子ども子育て新システムが始まり、ニーズ調査を実施して市民の方のニーズを把握して検討したいと考えています。

◆生活保護費

問 生活保護費では基準額の引き下げなど、どの様に考えているのか。

答 全国的には、保護受給者の不正受給、あるいは貧困ビジネスなど制度に対する国民の信頼を揺るがすような事案が生じているのが事実です。

このような中、生活保護の適正化、保護制度の見直しを国の方で取り組まれていると認識しています。

保護制度の適正化に関しては、全国市長会においても不正受給や貧困ビジネスを適正に排除するなど、生活保護の適正化に向け必要な法改正等をおこなうと共に就労自立支援を講じるよう要望しています。

生活保護受給者に対する就労支援の強化は当然のことですが、生活困窮者のニートと呼ばれる若い世代の就労の問題も含めた対応を国の方で現在検討しているところですので、このような制度がさらに拡充されることによって、少しでも生活保護費の抑制に繋がればと考えています。

◆教育補助員

問 教育補助員の仕事内容は。

答 業務内容は、教育活動における児童生徒の安全確保に係る補助、生活指導に係る補助、教育活動に係る記録事務の補助、読書活動の補助です。また、司書教諭の補助として図書室の本の整理、環境整備にあたって頂く予定です。

経済建設

◆市道の構造に関する基準

問 昔の側溝蓋は穴が大きく、そこに杖が入ってしまいます。このようなことを改良していく計画はあるのか。

答 この条例を適用して整備する道路は、国土交通大臣から指定を受ければ視覚障がい者などの誘導鋲も付けますし、間違って側溝の蓋にステッキが刺さるようなことが無い安全な構造になりますが、一般的な道路において障がい者の方のステッキが刺さらないような構造の蓋に替えるというような計画はありません。

◆大池第三雨水幹線建設工事に係る基本協定

問 5億円が減額されると、財源的に非常に助かる問題です。この減額の内容は。

答 当初、2次覆工型のシールド工法を使う計画でしたが、今回最新の技術の活用により、1次覆工型のシールド工法を選択したので、工期の短縮及び工事費が削減されました。

◆資源回収奨励金

問 資源回収実施団体奨励金の事業状況は。

答 資源回収実施団体奨励金は、平成25年度予算案では、奨励金を1キログラムあたり4円から2円に半減する予算案を提出させて頂きましたが、市内部において再度検討した結果、平成25年度の奨励金については、24年度と同額の1キログラムあたり4円とすることを市行財政改革本部会議において、決定されました。

また、不足が見込まれる予算は、執行状況を見ながら早ければ9月議会で補正等により対応したいと考えています。

◆有害鳥獣駆除対策

問 有害鳥獣駆除対策事業では、4月からカラスの駆除など1年を通して許可を取ることが可能になったと聞いているが状況は。

答 平成25年度については、年間を通じて駆除対策を実施する予定です。

市政を問う！

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。
3月定例会の一般質問は2月20日(水)、21日(木)、22日(金)の3日間に16名の議員が質問しました。
（ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。）

代表質問

いのち・暮らしに寄りそう あたたかい市政運営を

日本共産党　**丸山　わき子**

新年度予算の財源確保

問　新年度予算方針では市税の確保、受益者負担の適正化、新たな財源について積極的に取り組むとしているが具体的にどのような内容か。

市長　広告事業、公有財産の売却を含めた一層の活用、消費税及び地方消費税引き上げに合わせた水道料金、下水道使用料、その他各種使用料などの見直しについて検討します。

問　今後の財政見通しは如何か。

市長　平成25年度から29年度までの財源不足額は19億6千255万円と推計。このため、財源確保対策と歳出削減の両面で、歳入に見合った歳出構造への転換を図っていきます。

地域経済活性化で元気な街づくりを

問　今、市民の雇用と所得を増やし、消費に回すことによる内需の押し上げの施策で注目されているのが公契約条例で、自治体発注の工事や業務委託で仕事の中身に応じて適正な賃金を設定し、受注業者が労働者に、賃金保障を行うもの。この条例の制定とともに、中小企業振興条例で地域の活性化を求めるが如何か。

市長　公契約条例を制定している他の自治体の調査・研究をし、検討します。中小企業振興条例の制定については、条例制定の必要性なども含め慎重に対応します。

命・暮らしに寄り添う市政を

問　先日、母子家庭のお母さんが倒れ「病院に行っても払うお金がないからこのまま死なせてほしい」と言い意識不明に。高過ぎる国保税は滞納となり、分割で必死で払い、短期保険証は持っているものの、病気が悪化しても病院に行くゆとりのない状況でした。徴収強化のもとで、国保が命を奪うと言っても過言ではありません。機械的な国保証の取り上げはやめるよう求めるが如何か。

市長　保険税の滞納となっている原因は、さまざまであり、その状況により短期被保険者証や資格証明書の交付をしています。

問　税の延滞金について伺う。市税・国保税の延滞金は14.6％というサラ金並みであり、生活困窮者には延滞金は負担が重過ぎるため、減免をしている自治体が多い。本市でも導入を求めるが如何か。

市長　閣議決定した税制改正大綱では、延滞金等を9.3％に改正する案が示されており、税制改正が実施された際は的確に対応します。

問　生活が悪化している滞納者に対し、市営住宅への入居をさせない、限度額適用認定証発行をしないなど市民サービスの制限をしていますが、最も支援の必要な市民に温かい手を差し伸べるべきであるが如何か。

市長　市営住宅の入居者資格については、税負担の公平性の観点からも制限は必要と考えている。限度額適用認定証については、一時的な生活困窮や長期入院などにより、保険税の納付ができない場合も考えられることから、交付基準等について調査研究します。

安心・安全の街づくり

問　県道富里・酒々井線の整備計画について伺う。4月、酒々井プレミアムアウトレットの開業にともない、酒々井町側の県道は拡幅工事が進められているが、八街側の県道整備とともに、住野十字路の整備計画は如何か。

市長　現在、県の整備計画はないとのことでした。市としては要望を継続し、県と協力しながら、事業実現に向け努力します。

問　信号機の設置計画について伺う。西林・吉野宅脇の十字路の事故は一向に減らず、早急な信号機設置を求めるが如何か。

市長　今後、県の公安委員会と協議をしていきます。

問　朝陽小学校脇の信号機ついて、改善はできるのか伺う。

市長　平成25年度には、現地測量を行う予定であり、実現可能な交差点改良の素案を作成します。

代表質問

平成25年度
豊かな街づくりを問う

誠和会　**湯淺　祐德**

新年度予算

問　平成25年度一般会計予算案（昨年比2.8％増）の市政方針について伺う。

市長　①「便利で快適なまちづくり」のひとつとして、榎戸駅東口整備事業を平成26年度からの2ヵ年事業として詳細設計業務を実施し、平成26年秋頃に工事着手を予定しています。東口が整備されると、榎戸駅を利用される方の利便が向上するとともに、安全性の確保にも貢献できるものと期待しています。

②「安全で安心なまちづくり」のため、東日本大震災の経験を踏まえ八街市地域防災計画の見直し作業を進めています。この作業に合わせ災害時に備えるための防災備蓄倉庫や備蓄用資機材の整備を継続的に進めるとともに、災害時援助協定を取り交わした13団体との連携を密にしながら、市民の安全確保を第一に、適切な対処ができるよう万全を期していきます。

③「健康と思いやりあふれるまちづくり」として、ひとり暮らし高齢者等訪問業務や緊急通報装置設置管理事業などを引き続き行っていく他、高齢者宅を訪問する機会の多い民間事業者の協力による、八街市高齢者見守りネットワーク事業を新たに行っています。また、中学3年生までの子ども医療費助成事業を受給券発行による現物給付方式を導入した他、未熟児養育医療事業を新規に計上しました。

④「豊かな自然と共生するまちづくり」として、大池第三雨水幹線整備事業を行い、八街東小学校周辺や八街駅北側地域等の冠水問題の解消に努める他、住宅リフォーム補助事業や家庭用小型合併処理浄化槽設置事業などに係る予算について引き続き計上しています。

⑤「心の豊かさを感じるまちづくり」として、朝陽小学校校舎改築事業を平成25年度からの2ヵ年事業として工事を予定し、平成26年度の3学期からは新校舎での学習が展開されるものと見込んでいます。この他特別に援助や配置が必要とされる園児、児童・生徒の安全確保及び園や学校における生活への適応を援助するための教育補助員配置事業を新規事業として行います。

⑥「活気に満ちあふれるまちづくり」として、基幹産業である農業促進のため、輝けちばの園芸産地整備支援事業に関する予算計上しました。また、八街市優良特産落花生業者会が主体となり、本年1月より開始した郵便カタログ販売による八街産落花生の注文販売は、大変好評であり、活力の一翼を担うものとして、可能な限り協力していきたいと考えています。

問　八街市基幹産業である農業の促進を願うものであるが、平成25年度の重点施策について伺う。

市長　平成25年度は、農業者の高齢化と担い手不足に伴う耕作放棄地の解消対策及び農用地の利用集積を円滑に推進するため、農用地の賃借人に対し、農用地利用促進奨励金を昨年度に続き交付します。また、輝けちばの園芸産地整備支援事業を活用した、機械化・施設化による生産体制の確立に対する支援について、昨年比約3倍の予算を計上しました。

また、新規就農される方が農業を始めてから経営が安定するまでの間、最長で5年間、年間150万円を給付する青年就農給付金を給付し、新規就農者の定着を図ります。

再質問　八街市の農業振興について、もう少し大胆な施策を望むが如何か伺う。

経済環境部長　国・県の補助事業等を活用し、ニンジンを始めとする農産物のPRについて力をいれています。知名度のある落花生を利用して、八街産の野菜のPRをいろいろな場で行っていきます。また、耕作放棄地対策としての農用地利用促進奨励金を活用したり、新規就農者対策、後継者対策等にも取り組みます。

協働のまちづくり

問　協働のまちづくりの組織体制の確立について考えを伺う。

市長　平成22年度に「八街市協働のまちづくり職員研究会」を設置し調査研究を行っています。また、平成24年度には、市民向けの「協働のまちづくり市民講座」を開催するとともに、終了後参加者懇談会を開催し、熱心な意見交換が行われました。現在、協働に関する事業等の所掌事務は、企画課で行っていますが、全庁的に取り組む課題であり、市民参加を推進する上からも、市民活動を支援する組織体の充実について検討する必要があると考えています。

道路問題

問　朝陽小改修にあたっての交差点改良及び住野パイオニア付近の交差点整備について伺う。

市長　ご指摘の朝陽小学校交差点については、平成25年度に現地の測量を行い、県の公安委員会と協議を重ねながら、実現可能な交差点改良の素案を作成していきたいと考えています。また、パイオニア交差点整備は、酒々井インターチェンジ開通やアウトレットモールの開業に伴う交通量の動向を見ながら検討します。

※その他の質問

◆バイパス工事を始めとする平成25年度道路事業計画

◆平成25年度教育方針といじめ、体罰について

代表質問

新年度予算案や電気料金、長寿社会の街づくり

公明党　新宅　雅子

新年度予算

問　平成25年度の一般会計当初予算を見ると、学校給食センター事業特別会計を一般会計に組み入れたことにより、3億3千665万2千円の増を含む199億1千500万円、前年度予算と比べ、5億3千500万円、2.8パーセントの増となっています。しかし、市民税は長引く景気の低迷により、ほぼ横ばい状態。その一方で、扶助費約1億円、6パーセント近くの伸び。そして、高齢化に伴う社会保障費などの義務的経費が年々増加しています。市税収入が伸び悩んでいる中、歳出削減、歳入確保にどのように取り組まれたのか伺う。

市長　財政計画におきまして、義務的経費は若干の増加はあるものの、ほぼ横ばいに、また市税につきましても、ほぼ横ばいに推移するものと推計しております。しかし、今後予定しております大型事業等への対応も含め、平成25年度予算をはじめ、厳しい編成を行い、加えて硬直化した財政状況の改善に取り組んでいく必要があると考えております。そこで、直面している財源不足の解消に向け、行財政改革推進本部を中心とした、抜本的な事務事業の改善や継続的な見直しによる歳出の縮減、また、新たな財源の確保に取り組んでおります。

電気料金

問　電気料金値上げにより、本市の負担の増額、電気料金全体はどれほどになるか伺う。

市長　平成25年度の一般会計に係る電気料金については、前年度と比較して2千81万9千円増2億3千363万6千円を予算計上しております。増加額の大きな施設としては、クリーンセンターが1千927万2千円の増、防犯灯が平成24年度新設分を含め、516万1千円の増、小中学校157万6千円の増となっています。

問　4月から民間のPPS「特定規模電気事業者」から電力を購入することが可能になりましたPPS（特定規模電気事業者）の導入で、電気料金の大幅削減を提案するが如何か伺う。

市長　現在、発注方法や契約内容を検討しているところであり、平成25年度中に特定規模電気事業者から見積もりを徴収し、財政負担の軽減に努めたいと考えております。

まちづくり

問　団塊の世代が65歳になり、現役を退いて、今後、約5年間は地域で活躍の場を求める人が増えると思われます。2020年代になると団塊の世代が順次後期高齢者になります。現状のままでは高齢人口の増加は要支援、要介護の増加に結び付くことが懸念されます。住み慣れた地域で生活できる街づくり、いつまでも在宅で、安心した生活が送れる街づくり、いつまでも元気で活躍できる街づくりの具体化が喫緊の課題と考えます。そこで、地域全体で「長寿社会」をリードする「街づくり」の方針を決定すべきと考えるが如何か伺う。

市長　本市では、平成24年3月末に65歳以上の人口が20パーセントを超え、市民の5人に1人が高齢者となり、本格的な高齢化社会を迎えております。この中には、介護が必要な方もいらっしゃいますが、まだまだお元気で、地域でご活躍されている方も、たくさんいらっしゃいます。市シルバー人材センターでは、就労意欲のある高齢者が、技能・技術・経験を活かし、さまざまな仕事に取り組み、地域でご活躍されています。また中央公民館では、60歳以上の方を対象とした生きがい短期大学も開催されております。今後も、高齢者の豊かな経験、豊かな能力が活かせる場を提供し、高齢者が健康で生きがいを持ち、また高齢者の尊厳が保たれ、住み慣れた地域で安心して住み続けられる街づくりを目指し、現実を踏まえ、次期総合計画を策定してまいりたいと考えております。

電算整備事業

問　情報管理課の事業は表面に出ずに目立ちませんが、全ての事業の縁の下の力持ち的存在です。昨年から徐々にデータ移行業務を行い、平成25年本年1月から本格稼働と認識しておりますが、停電時の対応について伺う。

市長　総合行政情報システムの更新にあたりましては、昨年7月にデータの仮移行を行い、データ検証、システム検証及び運用テストを実施し、あわせて、関係職員の操作研修を行い、本年1月4日から新しいシステムが本稼働したところでございます停電時における電算システムの対応といたしましては、システムのデータの保護等を目的として、現在、無停電電源装置を設置しております。この装置は、第2庁舎裏と総合保健福祉センター屋上に設置してあり、全てのサーバー機器及び第1庁舎と総合保健福祉センターの1階窓口端末を1時間程度稼働し、安全にシステムを終了することができます。

また、本議会に3月補正予算案として、庁舎非常用発電機設置工事費を計上しており、これが完成しますと、電算システムは、停電時において、1時間という制限がなく使用できることとなります。

代表質問

街づくりについて

やちまた21　林　政男

防災組織の充実

問　災害の際、被害状況把握には、末端組織の役割が重要です。そこで、区・自治会の加入率の現状と課題についてどのように把握されているか。また、区の加入率を上げる行政区支援制度など施策がとれないか。

市長　区等自治会への加入率が60パーセントに満たない状況であり、理由としては、少子高齢化の進展等により担い手が少なくなってきていることや、市民個々の価値観、生活様式の多様化により、市民同士のコミュニティ意識が希薄になり、活動自体が縮小したりしている地域も見受けられます。

市民の相互理解を促進し、自治意識を高めることが大きな課題となっており、地域活動に自ら進んで参加できる新しい体制づくりの検討や補助制度の見直しも視野に入れ、自立した市民活動への転換を促すためにも、情報提供や経済的支援などにより、活性化を図るなど、これまでの自治組織のあり方を多角的な視点から見直す段階がきているものと考えているところです。

問　消防団員数の現状と団員数減少に歯止めがかからないのは何故か。また、今後の団員数確保をどの様に図るのか。

市長　定員595人に対して、平成25年1月1日現在で、460人の団員をもって、日夜、地域防災活動に努めています。自営業者数の減少及び勤務体系の多様化に伴う就業構造の変化等により、団員数は減少傾向にあり、これは本市だけでなく、全国的な傾向です。このため、消防団条例の一部を改正し、任命要件を緩和することで対象の範囲を広げるなどして、団員の確保に取り組んでいます。なお、本市の団員数は、減少傾向にあるものの火災等災害時における対応については、十分な出動団員数をもって対応し得ています。

活力あふれるまち

問　市内の空き家の件数は。また、雑草問題、植木問題、家屋問題等をどのように処理しているのか。また、空き家条例の制定についてどの様に考えているのか。

市長　空き家は、その管理の状況にもよりますが、防犯上だけでなく、倒壊や火災の発生、また、生活環境や景観の悪化など、さまざまな問題を引き起こす原因ともなります。平成20年に国が実施した、住宅土地統計調査によると2万8千370戸のうち、空き家はアパートなどの賃貸住宅を含め3千660戸です。雑草や庭木の繁茂に対する改善要望が多く、現在は環境の観点から所有者及び管理者に対し、現況の写真を送るとともに対応をお願いしています。

空き家条例については、平成24年4月1日現在、全国で54市区町が制定しており、千葉県では、防犯、火災、美観の観点などから、5市1町が既に制定しています。その後、他の自治体においても、空き家の所有者に対し、適正管理の勧告、命令ができる規定や行政代執行による解体も含めた空き家条例を制定する動きがありますが、その一方で、家屋は個人の財産であることから、行政による命令や代執行については、慎重に制度を検討する必要があると考え、関係部署等による十分な研究・協議を行いたいと考えています。

酒々井ICの開通とアウトレットモールオープンに伴う影響

問　市内交通に与える影響をどの様に推測しているのか。

市長　オープン当初から、ゴールデンウィーク明けまでの土日・祝日には、来客者が集中することが予想されます。運営会社の試算によると、1日当たりの来場者数は、トップピーク時に1万7千520台、通常の土日・祝日には約7千300台を見込んでいます。本市においても開業時においては、特に住野交差点での混雑が懸念され、これに伴い、国道409号での渋滞が予想されます。その対策として、国道409号の渋滞時には、運営会社が、「コナカ」付近交差点に看板及び誘導員を配置し、市道221号線から県道富里酒々井線へ迂回を促すことになっております。また、渋滞を緩和するため、市内の国道409号沿いに臨時駐車場を確保し、シャトルバスによる送迎対応ができるように準備をしていると聞いています。

問　市内商業に与える影響をどの様に推測しているのか。

市長　多くの集客が見込まれますので、本市の商業活性化とあわせて雇用拡大につながるものと期待しており、アウトレットモールへ出店する企業数社が、既に本市独自の就労支援サイト「ジョブ・ナビ・やちまた」の求人募集に登録していただいています。事業主との協議では、施設内で本市の特産物の販売等はできないとのことではありますが、インフォメーションセンター内にパンフレット等を置くことや駐車場で行う物産展などのイベントに参加させていただけるお話もございますので、積極的な利用を図り、より多くの方々へPRできるよう進めていくとともに、今後も引き続き、事業主などと連絡を取り合っていきます。

個人質問

出産・分娩の問題、榎戸駅整備、ゆるキャラの活用について問う！

誠和会　山口孝弘

子育て支援における地域医療

問　八街市内に産婦人科は1医療機関しかない状態です。出産・分娩の問題についてどの様に考えているのか。

市長　県の進める母子保健行政とあわせ、妊娠期間中の妊婦一般健康診査受診の助成や保健指導の充実に努め、安心して出産育児に臨んでいただけるよう努めます。

再質問　出産・分娩が市内の医療機関でできなくなるという情報が入っている。その点について伺う。

市民部長　市内の1医療機関が近々産科を取りやめるという情報は入っています。

再質問　これからの八街市を考えた上で、市内で出産・分娩ができないというのは非常に大きな問題です。市長はどの様に考えているのか。

市長　医師会などを通じ情報収集に努め、市として可能な対応がとれるかどうか見極めます。

榎戸駅整備事業

問　平成26年の秋頃には工事着手できるよう準備が進められているが、昨年結んだ本市とJR協定内容と整備計画について伺う。

市長　榎戸駅利用者の利便性を図るため、東西を結ぶ自由通路の設置、駅舎の橋上化を計画しています。平成24年10月11日付で「総武本線榎戸駅東西自由通路等に関する基本協定書」を締結し、同日付で「総武本線榎戸駅東西自由通路整備及び橋上駅舎新設に関する基本設計協定書」を締結しました。平成25年度には詳細設計協定を締結し、平成26年度中の工事着手を予定しています。

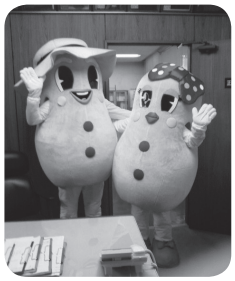
ゆるキャラの活用

問　「ピーちゃん・ナッちゃん」の商標登録に伴う使用規程、使用料の整備について伺う。

市長　経済情勢やPRの推進にも配慮し、市民、市内事業者については当分の間、無償にしたいと考えています。キャラクターの使用規程等を整備し、「ピーちゃん・ナッちゃん」をより一層活用していただき、経済波及効果も期待しています。

※その他の質問

◆ゆるキャラが地域にもたらす効果とそのキャラクターの管理や運営、SNSの活用



▲ピーちゃん・ナッちゃん

個人質問

市民のための安心安全・活力あふれる豊かなまちづくり

誠和会　林修三

防災に強いまち

問　八街市出初め式の開催日の妥当性について伺う。

市長　近年多くの市町において土、日曜日に消防出初式が開催されています。本市消防団は、伝統的に毎年1月10日に開催してきました。本市の開催日は、消防団本部で決定されています。次年度以降の開催日は、近隣市町状況、本市分団員の就業構造に伴う意向など、総合的な観点に立ち、消防団本部会議において審議され、決定されるものと考えています。

再質問　千葉県内で平日に実施しているのは八街市だけと捉えられます。是非、開催日については、土曜ないし日曜日に出来ないか伺う。

総務部長　改めて再度同じような答弁になりますが、開催日等を含めた出初式のあり方など消防団本部で決定されていますが、団員の仕事への影響を出来るだけ軽くするような配慮や多くの団員の参加が望めるよう、来年度以降の開催について団員の意向等も確認しているようですので、その辺を踏まえて再度、協議検討されるものだと考えています。

活力あふれるまち

問　平成25年度B級グルメ大会への八街市の動向について伺う。

市長　B級グルメは贅沢ではなく安価で日常的に食される庶民的な食べ物であり、「ゆるキャラ」と同様に全国的に注目を集め、B-1グランプリが毎年開催されるなど「ご当地グルメ」として、様々な創意工夫を凝らした商品が開発され地域活性化につながっています。本市も、八街産落花生やニンジンなど加工した様々な商品を開発するなど、八街産を全国的にPRする対策を講じています。2013 B-1グランプリ関東大会が勝浦市で9月に開催されますが、勝浦市長に本市の特産品をPRできないか要望したところ主催する実行委員会等で千葉県の特産品のPRが行えるよう進めていくとのことでしたので、八街産が全国に発信できるものと期待しています。

安心・安全なまち

問　八街警察署実現への取り組み状況を伺う。

市長　昨年8月山本県議と共に、県警本部へ出向き、大山警察本部長へ直接八街幹部交番を早期に八街警察署に昇格していただけるよう強く要望したところです。

※その他の質問

◆これからの消防団のあり方

◆八街市警察力の強化

◆八街特産物落花生の啓発促進

◆子どもたちの教育力促進（地域や家庭と一体となった教育促進他）

個人質問

健全な財政運営と命を守る児童虐待防止策について

誠和会　石井孝昭

地方税財源の充実確保

問　納税交渉や滞納整理に影響を及ぼす死亡者課税の現状と対策は。

市長　死亡者課税とは登記簿の名義は死亡者のまま変更されないため、本来の所有者である相続人等ではなく、死亡者に課税してしまうものです。今後は、相続人代表者指定届の提出を求めるなど、死亡者課税の減少を図ります。

問　固定資産税の共有名義の代表者（名宛人）設定基準並びに滞納状況とその対策は。

市長　共有名義の物件を課税台帳に登録し、その持分割合や共有物件の使用状況、共有者の構成とその関係性等を勘案し、代表者を決定して賦課処分しています。平成24年度の共有名義の代表者に通知した件数約4千700件のうち、滞納は273件です。督促、催告を行い、それでも納付されない場合には、財産の差し押さえ等の滞納処分を行っています。

問　共有者用納税通知書と共有者分割納付の対応は。

市長　共有名義の固定資産は、共有者が連帯して納税義務を負うことが地方税法に規定されています。個別の事情に鑑みて、やむを得ない場合には、申し出を受けて分割納付に対応するなど、配慮します。

地域防災力の強化

問　4月1日に始まる消防救急無線県内一元化に対する本市の状況は。

市長　「ちば消防共同指令センター」で、119番通報・受信及び消防自動車・救急車出動の通信指令業務の一元化運用が共同で行われます。

児童虐待防止について

問　急増する児童虐待の現状と対応は。

市長　今年度は、ネグレクトが15件、心理的虐待が5件、身体的虐待が9件、性的虐待が1件です。児童相談所はもとより、警察、保健所、民生委員・児童委員協議会及び市関係各部署等の関係機関と連携を図り、虐待の早期発見、防止に努めています。

問　従来の立入検査権よりも強制力のある「臨検」の活用は。

市長　臨検とは、児童虐待防止法第9条の3により地方裁判所、家庭裁判所または簡易裁判所が発する許可状により行う強制調査です。今後は児童家庭課も協力体制を整えたいと考えています。

婚活について

問　本市の婚活への支援措置は。

市長　婚活イベントを開催するグループ等があった場合にはできる限りの支援を考えています。

※その他の質問

◆自治体における債権管理

◆防災士による防災力強化へ

個人質問

安心、安全で、健全な街づくりのために

誠和会　木村利晴

道路問題

問　道路脇の枝葉の伸びた生垣の伐採について、平成24年度は何件把握し、何件改善されたのか。

市長　市道の安全通行を確保するため、市道沿道の生垣や山林などから枝葉の張り出しの改善について、広報やちまたで広く市民に周知するほか、今年度は区長回覧で、春と秋の2回及びホームページで周知し、市民に注意を促しています。なお、平成24年度の枝の張り出し等に対する市民等からの通報件数は、市道に関しては現在まで32件あり、31件については、処理または処理中となっています。国県道については、21件ありその都度、担当機関に連絡し、市で対応可能な箇所については、積極的に伐採等を実施しています。

問　歩道のない通学路について伺う。

①市道114号線、吉倉地区より四木街道に抜ける歩道整備対策について。

②市道1701３号線、松林交差点より神門線に抜ける通学路の大型車両進入規制について。

③市道211号線、県道22号線クリーンセンター入口より用草方面に向かう道路脇側溝の有効活用計画について。

④県道22号線、坂江地区の歩道整備について。

市長　①市道114号線の歩道整備は、「八街市総合計2005第2次基本計画」にあり、歩道整備するまでの対策として、大型車迂回を促す看板設置、道路用に余裕のある場所を歩行者通行部分として、近々路肩を広げる作業を始めていく予定です。

②看板設置について早急に実施したい。

③市道211号線の舗装修繕工事を検討し、この工事と一体に側溝部分の改修を実施、歩行者等の安全確保を図ります。

④今年度の進捗状況として、勢田入口交差点付近、延長約90メートルの歩道整備工事を発注したところです。

健全な街づくり

問　高齢者の健康推進対策及び認知症対策について伺う。

市長　「街の健康相談室」、生活習慣病予防のための市民講座を実施。認知症支援につなげる「認知症サポーター養成講座」の開催。また、認知機能低下予防の普及啓発、「認知症に強い脳を作る」講演会を開催しました。

※その他の質問

◆歩道及び蓋のある側溝の点検整備

◆県道22号線、坂江公民館付近の危険な横断歩道の押しボタン式信号機設置

◆高齢者見守りネットワーク

個人質問

担い手、新規就農者の対策を！

誠和会　小山栄治

農業問題

問　本市農業を活気づける担い手、新規就農者の対策について伺う。

市長　次代の担い手である、新規就農者の定着は必須課題であり、後継者に対する育成・支援の重要性は十分認識しています。新規就農する人が、農業を始めてから経営が安定する間、最長で5年間、年間150万円を給付する、青年就農給付金事業を実施し、新規就農者の定着を図っています。平成25年度には、3名の方への給付が可能となる見込みです。また、認定就農者の方には、農業技術や経営方法などを習得するための、実践的な研修に必要な資金や農業を開始する際の施設の設置、機械、資材の購入等に必要な資金を、無利子で貸付する就農支援資金がありますので、情報提供を行っていきたいと考えています。

問　優良農地がゆえに、農地転用ができず、困っている農家がいるが、農地法の優良農地の特例は出来ないのか伺う。

農業委員会事務局長　農地法では、農用地区域内にある農地のほか、良好な営農条件を備えている農地として、おおむね10ヘクタール以上の一団の農地や農業生産力の高い農地は、原則として農地転用する事は出来ません。しかし、農地法施行令第10条及び18条に示されているが、良好な営農条件を備えている農地であっても、例外的に農地転用の許可ができるものとしては、農業用施設や農畜産物処理加工施設など、農業の振興に資する施設や、病院、診療所など、医療事業の用に供する施設など。そのほかに、土地収用法による事業など、公益性が高いと認められる事業も、農地転用の許可が出来ることになっています。

青少年健全育成について

問　青少年健全育成条例について進捗状況はいかがか伺う。

教育長　八街市の青少年を取り巻く環境は、核家族や少子化の進展、さまざまなメディアからの情報の氾濫等により、急速に変化し、ニート・引きこもりなど、新たな問題が深刻化しています。市の条例制定につきましては、将来的には、福祉・医療・雇用など各関係分野を含めた形で検討していきたいと思いますが、当面の間は、県条例等に基づき事業を展開していきたいと考えています。

個人質問

市民と行政が一緒になって進める街づくり

誠和会　小菅耕二

協働による街づくり

問　市民の自主的な公益的な街づくりのために、新たな支援策を望むがどうか。

市長　新たな支援策は、現下の厳しい財政状況の中、補助金においても、スクラップ・アンド・ビルドの原則を踏まえた中で、支援体制の構築を検討課題としたいと考えています。

防災

問　地域防災計画の進捗状況はどうか。

市長　東日本大震災を教訓とし、修正作業をおこなっています。5月までに3回目の防災会議を予定しており、地域防災計画の策定が完了するのは、6月を予定しています。

問　耐震改修促進計画の進捗状況は。

市長　昭和56年5月31日以前に建築された一般木造住宅について、耐震診断に対する助成を平成22年度から行っており、耐震診断の測定値が1.0未満の木造住宅への耐震改修工事に対する助成を今年度から行っています。

問　防災上懸念され、長年放置されている空き家対策の推進は。

市長　平成20年住宅土地統計調査では、八街市の総住宅戸数2万8千370戸のうち、空き家は賃貸住宅を含め3千660戸あります。少子高齢化などの要因による空き家が増加すること等を踏まえ、関係部署等による十分な研究・協議を行っていきます。

問　災害時要援護者の登録制度を進めて自主防災の促進を図っては。

市長　災害時に自分一人では避難することが困難であり、支援を必要とする重度の障がい者世帯や、ひとり暮らしの高齢者世帯等への支援対策として「災害時要援護者名簿」の作成に向け準備を進めています。災害時要援護者名簿は、地域自治会、民生委員の方々、社会福祉協議会、消防の方々などに開示し、要支援者の安否確認や避難誘導などの支援活動に役立てていただくものです。

障害者優先調達推進

問　4月から、「障害者優先調達推進法」がスタートするが、本市として障害者就労施設等からの物品等の調達方針の策定について伺う。

市長　地域の障害者就労施設における障がい者の就労または在宅就労者の就業の実態に応じて、施設等が供給する物品等及び、その調達の目標について定めることとなっており、本市も今後、各部関係機関等へこの法律の周知を図り、施設等の供給する物品や本市の需要等の把握により、調達方針を策定し、障害者就労施設等からの物品等の調達について推進を図っていきます。

個人質問

安心・安全・活力あるまちづくり

誠和会　長谷川　健介

道路問題

問　クリーンセンター内で発生した火災の原因と今後の対応を伺う。

市長　現場検証で火災の原因の特定には至らなかったが、搬入ごみの中に発火性の高い物が混入していたことと考えられます。今後は、ごみの分別の徹底をさらに呼びかけ、安全対策に万全を期するとともに、既存の消火栓などに加え、さらに消火設備の充実を考えています。

再質問　消火設備の充実について伺う。

経済環境部長　消火栓をクリーンセンター入口までの延伸やゴミピット内の消火設備等の設置に対し関係機関と協議をしています。

学校給食

問　食物アレルギー事故防止のための対応について伺う。

教育長　アレルゲン表示献立表をアレルギーを持つ児童・生徒の保護者に配付し、給食への対応に役立てていただいています。また、教職員全員が共通理解を図り、適切に対応できるよう配慮して、給食中の声かけや見守りをしています。

児童、生徒の安心・安全

問　学校耐震補強工事と改修工事について伺う。

教育長　現在、耐震性能が確保されていない学校は、朝陽小、川上小、交進小、八街東小、八街中学校です。朝陽小は、平成25年度から26年度にかけて改築工事を実施する予定で、他の4校は平成26年度までに耐震補強工事を行う予定でしたが、国の補正予算を活用し、平成25年度中に全て耐震補強工事を完了するよう計画を立てています。改修工事は、財政状況を踏まえながら、平成25年度を目途に進めたいと考えています。

産業振興

問　八街産農産物のパッケージデザインに八街市のキャラクターであるピーちゃん・ナッちゃんを取り入れ、ブランド化出荷販売ができないか。また、今後のPR等について伺う。

市長　パッケージデザインは、PR・ブランド化に有効な手段の一つであり、今後JA等との協議を考えています。また、落花生の販売時において包装紙等へのキャラクターの印刷に関しては、本年4月より、市内の事業者等の方は、当分の間無料で使用できるよう、要綱等の整備を進め、関係団体との協議を考えています。PRはイベントに参加し落花生・人参を中心に展開していき、人参は春人参の産地化に向け国の指定産地を平成25年度中に受けられるよう、千葉県と協議をしています。

個人質問

市民が農業を楽しむ街 ゴミ減量化の取り組みについて問う

公明党　川上　雄次

子どもの健全育成について

問　八街市は農業という豊かで優れた財産があります。しかし、その農業の将来性は高齢化による後継者不足や耕作放棄地の増加など、農業をめぐる環境は厳しさを増しております。そこで大変心配な遊休農地の実態と活用方法について伺う。

市長　遊休農地の実態につきましては、市内の全農地の利用状況を現地において確認し、把握に努めているところであり、今年度の調査結果では、遊休農地と判定された農地は318ヘクタールであり、今年度からは新たに担い手への農地の集積を円滑に行うため、農地の借受者に対し、奨励金を交付することにより、農業経営基盤の強化を促進しているところです。

問　野菜作りの基礎知識や市民が学べるセンターを開設し、八街市の魅力づくりができないか伺う。

市長　市民に向けての野菜作り講習会やセミナーの開催につきましては、印旛農業事務所改良普及課から講師を派遣していただいて、実施してまいりたいと考えております。

豊かな農業、そして農地を活かす取り組みは、八街市民の「生活の質」の向上にも貢献すると思います。

問　農業体験や栽培技術研修を通して市民が農作業を身近なライフスタイルにできる街づくりができないか伺う。

市長　多くの方々に農業についての理解を深めていただき、かつ都市と農村との交流による地域の活性化が図られ、都市住民のレクリエーションの需要が充足されるとともに、市民農園の存在そのものが、公園緑地と同様に良好な自然環境の形成にもつながるものと考えています。

ゴミの減量化ついて

問　八街市には自前の埋立処分場があるが残存能力はいかほどか、また、積極的なごみ減量化が必要だが取り組みを伺う。

市長　本市では、平成26年度を目標年度とした八街市一般廃棄物処理基本計画を策定しております。処分場の現在の残容量につきましては、昨年8月に残容量測定を実施したところ、約10万8千立方メートルという結果が出ました。これを、過去3年間の平均埋立量、約8千200立方メートルで割り返しますと、埋立可能年数は約13年が見込まれます。市ではごみの発生抑制・再使用・再生利用を推進しております。ごみを減量化するためには、何よりもごみを発生させないことが大切で、一人でも多くの方にご協力いただけるような施策を検討してまいりたいと考えています。

個人質問

学校給食と介護支援ボランティアについて問う

公明党　服部雅恵

学校給食

問　小中学校での給食について、食べ残しの実態や、地産地消の取り組み、八街産小麦・ユメシホウで製造したパンの進捗状況などを伺う。

教育長　給食の食べ残しの量を児童・生徒数で割った平均残菜率は、平成23年度の状況では、小学校が18.6パーセント、中学校が16.9パーセントでありました。

給食の食材では、地産地消に留意し、安全な地元産の使用に努めております。

また、来月から、地産地消を目的に、市内の農家の方々が栽培した八街産小麦「ユメシホウ」で製造したパンを給食に取り入れることとなりました。

問　アレルギーを持つ児童への対応について伺う。

教育長　給食センターでは、毎月、アレルゲン表示献立表を作成し、各学校に配布しております。学校では、何らかのアレルギーを持つ児童・生徒の保護者から要望があった場合には、栄養士が詳しく説明をしています。

問　学校給食の未納問題の背景は、児童・生徒ごとにさまざまな要因があると思うが、給食費の収納率の状況について伺う。

教育長　平成23年度決算における給食費の収納状況は未納額810万8千397円で、収納率は97.57パーセントでした。未納者に対して児童手当からの徴収の申し込みを促したところ、申込は39件でした。今後とも、さまざまな未納対策を実施することにより、収納率の向上に努めてまいりたいと考えております。

介護支援ボランティア

問　第5期高齢者福祉計画の、健康づくりと介護予防の進捗状況について伺う。

市長　第5期高齢者福祉計画は、「高齢者の尊厳が保たれ、住み慣れた地域で安心して住み続けられる街」を目指して策定したもので今後も、高齢者福祉介護保険施策に取り組んでまいります。介護予防事業については多数の申し込みがありました。

問　高齢者の介護支援ボランティア活動の実績に応じて、ポイントを交付金として付与する制度があります。本市も、介護ボランティア制度を導入すべきと思うが如何か。

市長　高齢者が福祉施設等でボランティア活動を行うことは、高齢者自身の生きがいづくりや、ひいては介護予防にもつながるものと考えられています。介護支援ボランティアの導入については、第5期計画期間中に導入した場合の課題・効果、財源の問題も含め検討してまいりたいと考えております。

個人質問

安心して住み続けられる街へ

日本共産党　右山正美

住民本位の新年度予算を

問　市の高齢化世帯は着実に増加し、免許返上などで新たな交通弱者も生まれ、乗合タクシーは近隣市で、すでに取り組みが始まっています。スピード感を持って取り組む必要があるが如何か。

市長　持続可能な公共交通の形態について、協議会の中で検討していただき、市の方向性を示していきます。

自然エネルギーの推進を

問　遊休地を活用して太陽光発電の導入の手助けをしては如何か。

農業委員会事務局長　可能性について県の担当者も交えて、相談に応じています。

問　公共施設の屋根貸し業を、財源の確保、教育環境の育成の場から推進しては如何か。

市長　先行している自治体での効果を検討し、耐力度調査や施設の安全性を確認し、検討します。

生活保護について

問　生活保護基準の見直しがされようとしています。所得格差が広がり、低所得世帯の消費水準が低下しているもとで、それと比較して生活扶助基準が高いというだけで基準を引き下げることは妥当とは言えません。国民の最低生活を守る岩盤の意味を失い、際限なく国民の生活水準は引き下げられることになります。受給者への影響をどのように考えるのか。

市長　生活扶助基準が引き下げられる世帯は96％にもあたると言われており、市民生活に影響を及ぼす可能性は十分認識しています。影響を具体的に試算はできませんが、厚労省の今後の動向を注視していきたいと考えています。

不正受給について

問　不正受給は金額ベースで受給者全体の0.4％弱。アルバイトの申告漏れなども入っています。昨今のマスコミの報道は、生活保護利用者全般や生活保護制度そのものに問題があるような報道をしています。市での不正受給の経過と対応は。

市長　市での不正受給は全体の0.2％程度で、必ずしも悪質な不正受給者が蔓延しているとは考えていません。今後とも、保護費の返還を求めるなど厳正な運用に努めていきたいと考えています。

個人質問

教育の充実と高齢者に安心を

日本共産党　京増藤江

教育問題

問　勉強がよく分かるようにするために、各学校に教職員の増員を求めるが如何か。

教育長　一定の児童・生徒数以上の学校に、少人数指導の教員が配置されています。

再質問　先生は忙しすぎます。今年度先生は増えるのか。

教育次長　教員は増えませんが、小中学校の殆どが35人以下の学級編成です。

問　経済悪化のもと、子ども達を取り巻く環境は厳しい。不登校の子も多く、先生の手厚い配置が必要です。また、学力向上や情操教育などのために、学校司書の配置を全国で進めています。八街市も地方交付税を活用して専任の学校司書を配置すべきと思うが如何か。

教育長　交付税は一般財源として使われているので、要望していますが実現していません。

再質問　文科省が交付税措置をしている学校司書の予算化を市長に求めるが如何か。

市長　平成25年度については、教育補助員で対応します。

再質問　子ども達の問題に対応する家庭訪問専門員を各小学校区に配置するよう求めるが如何か。

教育次長　当面は現行の二人体制でいきます。

問　各学区に児童館設置計画を立てること。また、当面親子の交流の場として利用されている総合福祉センターの一室を常時使用できるよう求めるが如何か。

市長　児童館については難しい。総合福祉センターの一室を常設できるか検討します。

再質問　児童クラブ入所児童のうち、ひとり親家庭の児童は約3割。入所していないひとり親家庭の児童が放課後をどの様に過ごしているのか把握しているのか。

市民部長　把握していません。

高齢社会に向けた街づくりを

問　介護保険料・利用料について、市独自の軽減策を求めるが如何か。

市長　保険料については、本市の減免取扱基準で対応し、利用料は国の制度に準じた軽減を実施します。

問　高齢者の安全確保のため、情報が確実に伝わるよう対策を求めるが如何か。

市長　災害時に支援が必要なひとり暮らしの支援策として、「災害時要援護者名簿」の作成準備をしています。

個人質問

子ども議会や市民との協働について

桜田秀雄

子ども議会について

問　平成23年に開かれた子ども議会で、中学生議員から「中学生の腕章」の改善を求める質問があった。どのように対応するのか伺う。

教育長　生徒指導主事と教育委員会で協議を重ねた結果、次の観点から腕章を廃止することにしました。「制服の劣化につながること」「上腕部に確実に取り付けることが難しく、自転車を運転する際など、光を反射しない角度になる場合が多いこと」「冬服期間の制服着用時に限定されるため、夏服時及び冬季の防寒服着用時など、非着用の時期が長いこと」などです。対応策は、反射素材のクロスを年間を通じて必ず活用して、通学用かばん等の目立つ箇所に取り付けることにしました。なお、同じく腕章を貸与している二州小学校沖方面の児童には、自転車通学者のみの措置であるので、前かご前面に反射板を付けることで代替することにしています。

市民との協働について

問　「協働のまちづくり市民講座」の参加状況について伺う。

市長　平成24年6月から平成25年1月までで全8回開催し参加者は計537人で、うち市職員の参加は237人でした。また、2月7日には「協働のまちづくり市民講座」参加者懇談会を開催し、参加者は50人、うち市職員は15人でした。

問　制度化への道筋はどのように考えているのか。

市長　講師のお話によるとルールづくりが重要であるとのこと。行政と市民が共通認識のもと指針や条例等、どのような形態が望ましいか検討し、行政と市民が協力し合って策定していく必要がある。平成25年度は、今回の懇談会を発展させた形で場を継続し、さらなる共通理解を深めていきます。

問　協働のまちづくりを進める上で担い手の育成が重要である。市民サポートセンターの設置など育成策を伺う。

市長　支援体制の確立は、協働のルールや推進計画等とともに、組織の見直しを含めて検討すべき事項と捉えています。

道路事業について

問　市道5区10号線と神門八街線の接道部周辺で宅地分譲がおこなわれている。建物が立つと歩道整備が困難になる。用地の確保とカワチまでの歩道整備について伺う。

市長　県道神門八街線の歩道整備は平成25年度分から新規に歩道整備要望を提出、現在、関係する区長を通じ、沿線土地所有者に歩道整備の同意についてお願いしています。

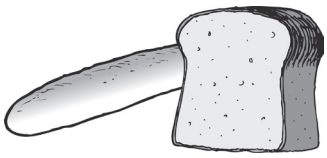
福岡県宮若市が来市

3月26日に福岡県宮若市の議員団6名が八街市の農業施策とJAグリーンやちまたを視察に訪れました。

学校給食に八街産小麦「ユメシホウ」を使ったパンが登場!!

この度、地産地消を目的に、給食の一部のパンに市内の農家の方々が栽培した「ユメシホウ」が使われることになりました。

「ユメシホウ」は、北海道の「ハルヒカリ」という製パン性に優れた小麦の品種改良を重ねた結果、関東地域での栽培に適した新品種として誕生しました。「ユメシホウ」という名前は、関東地域のパン用小麦という夢が四方に広がることを願って名付けられました。



議会改革進めています

議会改革検討協議会では、昨年６月から浦安市議会の視察を含め６回の会議を行い、４月12日に議会運営委員会へ中間答申を行いました。今後は、議会運営委員会で協議検討されます。

○主な答申の内容

①反問権の導入

②一般質問での一問一答方式及び対面方式の導入

③委員長報告に対する質問の答弁席設置

④請願紹介議員、発議案提出者に対する対面による質疑等

★議長・副議長の出席報告★

【2月】

2日・近隣中学校交流柔道大会

3日・福祉まつり

4日・千葉県北総地区市議会正副議長会臨時会

5日・男女共同参画フォーラムインやちまた

8日・印旛郡市広域市町村圏事務組合議会定例会（佐倉市）

11日・ロードレース大会

・銚子市市制施行80周年記念式典（銚子市）

14日・千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会（千葉市）

19日・基本地域福祉フォーラム講演会

23日・社会教育振興大会

【3月】

10日・印旛郡市少年野球大会開会式

12日・獣魂祭

・成田国際空港騒音対策委員会富里地区部会視察研修会及び地区部会（成田市）

26日・消防組合議会全員協議会及び定例会（佐倉市）

30日・いんば農業協同組合通常総代会（佐倉市）

【4月】

2日・印旛管内市議会正副議長連絡協議会会計監査

7日・ソフトボール協会合同開会式

・消防団新旧役員歓送迎会

10日・東関道酒々井インターチェンジ開通式及び設置促進期成同盟臨時総会（酒々井町）

13日・スポーツ少年団定時総会

14日・戦没者追悼奉納剣道大会

・野球連盟「総合開会式」

・子ども会育成会連絡協議会総会

16日・県市議会議長会会計監査及び役員会（千葉市）

19日・連合婦人会定期総会

21日・橘の会　舞踊発表会

・スポーツ少年団合同開会式

22日・千葉県市議会議長会定例総会（千葉市）

23日・千葉県北総地区市議会正副議長会事務局長会議

25日・関東市議会議長会定期総会（甲府市）

3月定例会議案等結果一覧

○賛成×反対

議案番号	件名	議決年月日	結果	各会派の賛否 誠和	公明	21	共産	古	桜
諮問第１号	人権擁護委員候補者の推薦	平成25年2月18日	適任と認める	○	○	○	○	○	○
議案第１号	固定資産評価審査委員会委員の選任	平成25年2月18日	同　　意	○	○	○	○	○	○
議案第２号	八街市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第３号	八街市特別職の職員等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第４号	八街市一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第５号	八街市一般職の職員の管理職手当の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第６号	八街市学校給食センター事業特別会計条例を廃止する条例の制定	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第７号	八街市児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第８号	八街市高齢者福祉計画策定審議会設置条例等の一部を改正する条例の制定	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第９号	八街市介護保険条例の一部を改正する条例の制定	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１０号	八街市指定地域密着型サービス基準条例の制定	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１１号	八街市指定地域密着型介護予防サービス基準条例の制定	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１２号	八街市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１３号	八街市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１４号	八街市小規模水道条例の制定	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１５号	八街市市道の移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１６号	八街市公共下水道大池第三雨水幹線建設工事に係る基本協定の変更	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第１７号	八街市公共下水道(雨水)整備事業大池調整池用地の取得	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１８号	平成24年度八街市一般会計補正予算	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１９号	平成24年度八街市国民健康保険特別会計補正予算	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第２０号	平成24年度八街市後期高齢者医療特別会計補正予算	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第２１号	平成24年度八街市下水道事業特別会計補正予算	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第２２号	平成24年度八街市水道事業会計補正予算	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第２３号	平成25年度八街市一般会計予算	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	×	○	○
	議案第23号平成25年度八街市一般会計予算の組み替えを求める動議	平成25年3月19日	否　　決	×	×	×	○	×	退席
	議案第23号平成25年度八街市一般会計予算に対する修正動議	平成25年3月19日	否　　決	×	×	×	×	×	○
議案第２４号	平成25年度八街市国民健康保険特別会計予算	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第２５号	平成25年度八街市後期高齢者医療特別会計予算	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第２６号	平成25年度八街市介護保険特別会計予算	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第２７号	平成25年度八街市下水道事業特別会計予算	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第２８号	平成25年度八街市水道事業会計予算	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第２９号	平成24年度八街市一般会計補正予算	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第３０号	平成24年度八街市下水道事業特別会計補正予算	平成25年3月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
発議案第１号	八街市議会政務活動費の交付に関する条例の制定	平成25年2月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○
発議案第２号	八街市空き家等の適正な管理に関する条例の制定	平成25年3月19日提出	同日撤回	－	－	－	－	－	－

誠和（誠和会）……湯淺　祐德、中田　眞司、小髙　良則、山口　孝弘、林　修三、石井　孝昭、木村　利晴、小山　栄治、小菅　耕二、鈴木　広美、長谷川健介
公明（公明党）……新宅　雅子、鯨井眞佐子、川上　雄次、服部　雅恵
２１（やちまた21）……加藤　弘、林　政男
共産（日本共産党）……丸山わき子、右山　正美、京増　藤江
古……古場　正春　　桜……桜田　秀雄

編集後記

青空の下、鯉のぼりが悠々と泳いでいます。春光から夏を肌で感じる季節となって参りました。
3月の定例議会は、2月18日開会し3月19日閉会致しました。
現下の行政環境と厳しい財政状況を認識した上で、限られた財源を重点的かつ効率的に配分する施策精選型の平成25年度の予算を慎重に審議致しました。
東日本大震災発生から２年が経ちました。今年度中には八街市地域防災計画が策定されます。市民の皆様が安心安全に暮らすことが出来る様に、これからも努力して参ります。また、４月10日酒々井インターチェンジの開通、４月19日酒々井アウトレットがオープン致しました。八街市として活性化する産業振興を図って行くことを期待申し上げます。
平成25年度も、この「議会だより」が市民の皆様と議会を近づける一助となれれば幸いです。
お気軽に市民の皆様のご意見を議会にお届け下さい。

（石井孝昭）

●議会だより編集委員会●　委員長／加藤　弘　副委員長／川上雄次　委員／京増藤江・古場正春・山口孝弘・林　修三・石井孝昭・小山栄治

※本紙にご意見等ございましたら「議会だより編集委員会」までお寄せ下さい。　TEL043(443)1482